

2024 年 9 月 16 日日

課題名：倉敷中央病院における顕微鏡下精巣精子採取術について

◆研究の目的と概要◆

当院では、顕微鏡下精巣精子採取術（ Microdissection Testicular Sperm Extraction (MD-TESE) ）について、手術の成功に関連する要因を調べています。本研究の目的は、倉敷中央病院における 14 年間の Microdissection Testicular Sperm Extraction (MD-TESE)実施経験を分析し、その有効性と安全性を評価し今後の診療の改善を目指すことです。

◆対象となる患者さん◆

2010 年 1 月から 2024 年 3 月までに倉敷中央病院で MD-TESE を受けた非閉塞性無精子症患者 62 名の医療記録を後方視的に調査します。

◆研究に使用される情報◆

年齢、BMI、不妊までの期間、すでにおもちの疾患、採血、FSH、LH、テストステロン値、エコー精巣容積、手術日、手術時間、精子回収の有無、採取された精子の質、術後経過、合併症の有無と種類、妊娠の有無

◆情報の研究利用開始日◆

2025 年 6 月 18 日から

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録(カルテ)等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

泌尿器科 研究責任者 砂田 拓郎

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明